

■経済学部

【入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）】

経済学部では、経済学の知識と分析技術及びそれらを経済学の専門的な分野に応用する能力を備え、幅広い知識と教養及びグローバルなコミュニケーション能力を経済学の知識と分析技術と融合させて現実の経済・社会の課題を設定し解決に導く能力を、学士（経済学）の授与までに獲得できる人材として以下「1. 求める学生像」に掲げる能力や資質を持った方の入学を期待しています。この目標のため、「2. 入学者選抜の基本方針」に基づいて入学者を選抜します。

1. 求める学生像

以下のすべてを備えた人を求めています。

- (1) 経済学の修得に必要な知識・技能を身に付けていること。特に、理論、実証、歴史を体系づけて経済・社会現象を理解するための前提知識
- (2) 幅広く豊かな教養を修得できるだけの知識・技能
- (3) グローバルなコミュニケーション能力を修得するための英語をはじめとする外国語の知識と思考力・判断力・表現力等の能力
- (4) 経済・社会における様々な問題に対して自ら課題を設定し、説得力のある議論に基づいて解決方法を提案する思考力・判断力・表現力等の能力や主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度

2. 入学者選抜の基本方針

上記に掲げる能力と資質を有しているかを以下の方法を用いて選抜します。

- (1) 一般選抜においては、主として大学入学共通テストで(2)と(3)を、個別学力検査で(1)と(3)を評価します。特に、経済学の理解に必要な英語と数学を重要視します。
- (2) 学校推薦型選抜においては、主として大学共通テストと小論文による個別学力検査で(1)~(3)を、面接による個別学力検査と調査書、(学校による)推薦書、及び自己推薦書で(1)~(4)を評価します。
- (3) 一般選抜は前期日程に加えて後期日程を実施することで多様な人材の確保に努めます。

3. 「学力の3要素」の多面的・総合的な評価方法

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・ 表現力等の能力	主体性を持って多 様な人々と協働し て学ぶ態度
一般選抜 (前期日程)	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査	○	○	
一般選抜 (後期日程)	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査	○	○	
学校推薦型 選抜	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査	○	○	
	面接	○	○	○
	調査書			○
	推薦書			○
	自己推薦書			○
外国学校 出身者選抜	個別学力検査	○	○	
	面接	○	○	○
私費外国人 留学生選抜	TOEFL	○	○	
	日本留学試験	○	○	
	個別学力検査	○	○	

(注) ○は、特に重視する要素